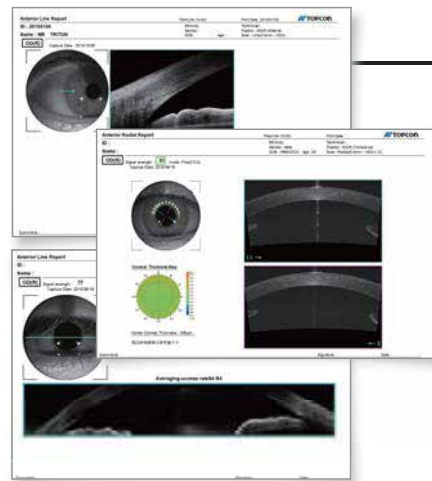


レポートサンプル DRI OCT Triton series Report Practical Guide

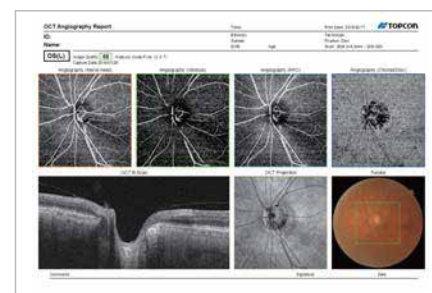
Anterior OCT Angiography



前眼部レポート

16mm のラインスキャンが可能のほか、隅角部位のスキャン画像を表示します。
また 12 mm ラジアルスキャンでは Corneal thickness マップの表示も可能です。

*前眼部撮影機能は別売付属品の前眼部用アタッチメントを取り付けることで撮影が可能です。



標準レポート

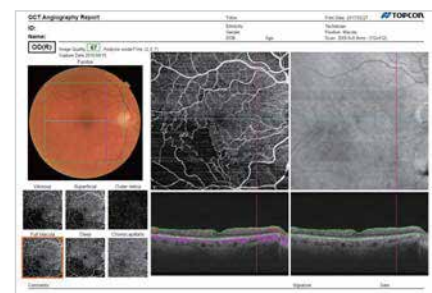
OCT Angiography レポート

標準レポートでは、OCT Angiography 画像を Superfical, Deep, Outer retina, Choriocapillaris の 4 層に分け表示します。また B-scan 像、En-face 画像、カラーコンポジット画像、カラー眼底画像を 1 枚のレポートで表示します。さらにカラー眼底画像には OCT Angiography 画像をオーバーレイ表示することもできます。

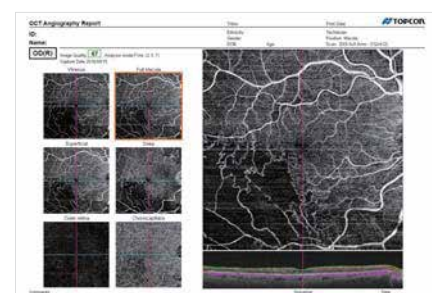
Angio/En-face レポートでは、任意の OCT Angiography 画像と En-face 画像を拡大表示でき、Wide レポートでは OCT Angiography 画像をさらに拡大した状態で表示できます。これにより、血管領域と形態の確認が容易です。さらに Full Macula, Vitreous, Superfical, Deep, Outer retina, Choriocapillaris の 6 層を表示できます。

スキャン範囲：
Macula /Center / Disc
(3.0 x 3.0mm / 4.5 x 4.5mm / 6.0 x 6.0mm / 9.0 x 9.0mm / 12.00 x 12.00mm)

*OCT Angiography ソフトウェアは別売オプションです。
*OCT Angiography 画像の観察は IMAGEnet 6 との組み合わせにより可能です。



Angio/Enface レポート



Wideレポート



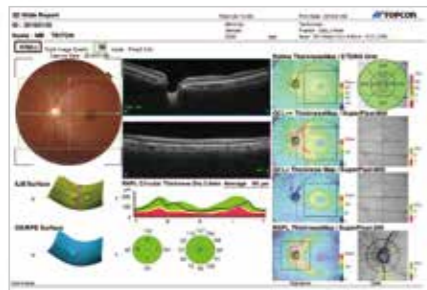
販売名：3次元眼底像撮影装置 DRI OCT Triton 医療機器認証番号：226AABZX00146000
販売名：眼科データ管理システム IMAGEnet 6 医療機器認証番号：227AABZX00081000

※画面はハメコみ合成です。
※カタログと実際の商品の色とは、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。
※カタログ掲載商品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

株式会社 トプコン
202107_E335_Rev2

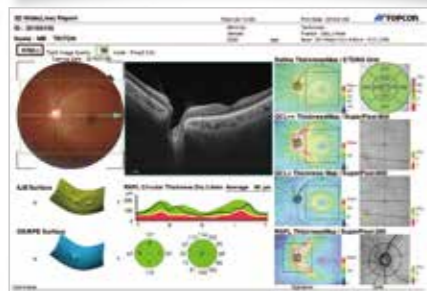
TOPCON Healthcare
SEEING EYE HEALTH DIFFERENTLY





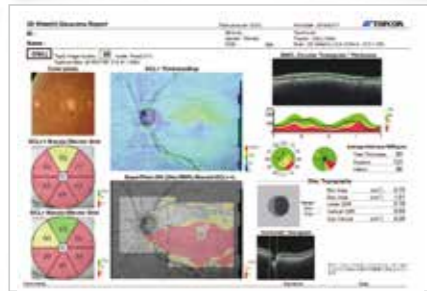
3D Wide スタンダードレポート

1度のスキャンで黄斑と視神経乳頭画像を同時に撮影します。黄斑部解析および、NFL,GCL+IPL,NFL+GCL+IPLのThicknessマップやSignificanceマップを表示できます。



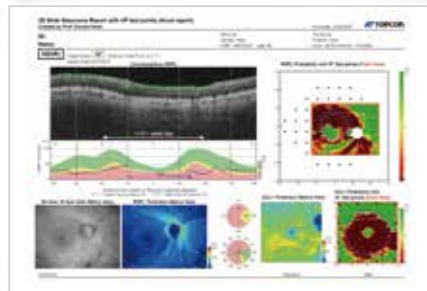
3D Wide コンビネーションレポート

3Dワイドスキャン(12mm x 9mm)とライン/5ラインクロス/ラジアルスキャンを同時に行います。コンビネーションスキャンで撮影することにより、3Dデータから網膜内のThicknessマップと設定された位置のB-scan画像を1度のスキャンで撮影することができます。



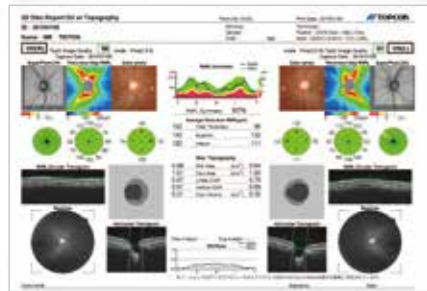
3D Wide Glaucomaレポート

12mm x 9mm の 3D スキャン撮影により得られる解析結果をまとめて表示をするレポートです。眼底撮影画像、視神経乳頭部の形状解析結果、RNFL や GCL(GCL+,GCL++) の Thickness マップや Significance マップ、健常眼との比較結果などをレポートに表示します。



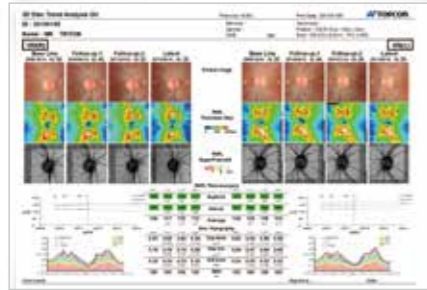
3D Wide Glaucomaレポート(Hoodレポート)

コロビア大学Dr. Donald Hoodの監修を受けた、トプコン独自のレポートです。視神経乳頭部の形状解析結果、Enface、RNFLやGCL+のThicknessマップに加え、視野計(24-2と10-2)の検査点とRNFL層の相関などをレポートに表示します。



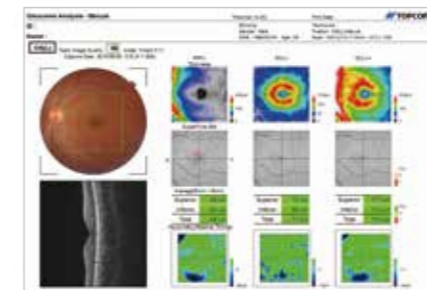
視神経乳頭形状解析レポート

視神経乳頭エリアを水平にスキャンします。眼底撮影画像、RNFL厚マップや各種パラメータで視神経乳頭部の形状解析結果などを表示します。



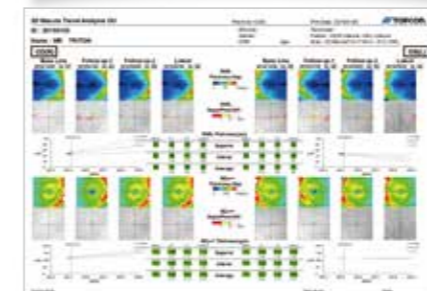
視神経乳頭トレンド解析レポート

視神経乳頭エリアの過去から現在の解析結果を時系列に並べて、RNFL厚の経過をグラフなどでレポートに表示します。



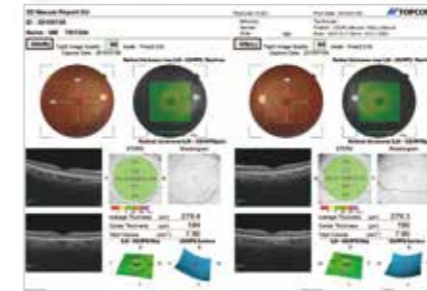
黄斑部解析レポート

黄斑部エリアの解析結果として、RNFL厚マップ、GCL厚マップ(GCL+,GCL++)、網膜厚マップと健常眼データとの比較結果などを表示します。



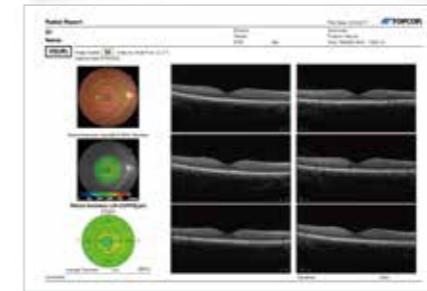
3D黄斑部トレンド解析レポート

過去に検査した黄斑部の検査結果と新しい検査結果を時系列に1画面に表示します。片眼で最大4つ(両眼で8つ)のデータまで表示可能です。現在と過去におけるデータとの比較ができます。



3D黄斑部解析レポート

黄斑部の3Dスキャンしたデータと健常眼データベースを比較し、結果を色分け表示します。



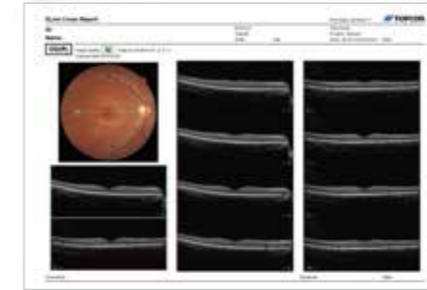
ラジアルスキャンレポート

ラジアル方向のBスキャン画像などを表示します。(9mm,6mm)



ラインスキャンレポート

ワイドな12mmのBスキャン画像などを表示します。(12mm,9mm,6mm)



5ラインクロスレポート

垂直および水平方向におけるBスキャン画像などを表示します。

